



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**55**号

平成24年11月7日

河津町議会だより



さくら幼稚園運動会

主な内容

- 平成24年第3回定例会(要旨)..... 2 P
- 決算審査特別委員会..... 3 P
- 町長行政報告(抜粋)..... 4 P
- 一般質問..... 5～8 P
- 一部事務組合議会報告..... 9 P
- 議会の動き..... 10 P

平成24年 第3回定例会 (要旨)

第3回定例会は9月11日から9月24日まで開かれ、初日は町長の行政報告に続き、1名の一般質問が行われ、2日目は、3名の一般質問と報告案件2件、人事案件1件、条例案件2件、規約変更1件の審議、3日目は補正予算3件と決算認定9件の各議案が審議された。決算9議案は決算審査特別委員会に付託され、審査の結果、意見書を附帯し認定。他の議案は原案通り可決承認された。

可決された条例改正、補正予算、その他

- 平成23年度決算に基づく河津町健全化判断比率の報告
平成24年度に公表する健全化判断比率
- 静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
「外国人登録原票」を削り、年度を改める。
- 平成23年度決算に基づく河津町公営企業の資金不足比率の報告
平成24年度に公表する資金不足比率
- 平成24年度河津町一般会計補正予算(第4号)
歳入歳出予算総額に、歳入歳出それぞれ112,192千円を追加し、総額を3,682,043千円とする。
- 人権擁護委員の推薦について
河津町浜21番地の1 岩崎幸夫氏
- 平成24年度河津町温泉事業会計補正予算(第2号)
収益的支出の予算額に510千円を追加し、総額を118,014千円とする。
- 社会福祉法人の助成に関する条例の一部を改正する条例
「社会福祉事業法第56条第1項」を「社会福祉法第58条第1項」に改める。
- 河津バガテル公園施設使用料徴収条例の一部を改正する条例
附則に「建物の使用料については、当分の間徴収しないものとする。」を加える。



推薦、発議による意見書の提出

- ◇河津町農業委員会委員の推薦について
河津町峰731 吉田重好氏
- ◇南海トラフ巨大地震対策における特別措置法(仮称)の制定を求める意見書の提出について・・・可決
- ◇監査委員の選任について
河津町川津筏場595 山田勇氏
- ◇浜岡原発の永久停止・廃炉を求める意見書の提出について・・・否決

決算審査特別委員会

決算9議案を審査認定

平成23年度決算9議案(河津町一般会計、河津駅前広場整備事業特別会計、河津町土地取得特別会計、河津町国民健康保険特別会計、河津町介護保険特別会計、河津町後期高齢者医療特別会計、河津町国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計、河津町水道事業会計、河津町温泉事業会計)は、決算特別委員会(宮崎啓次委員長)に付託された。総務課、まちづくり推進課、町民生活課、保健福祉課、産業振興課(農業委員会を含む)、建設課、教育委員会、議会事務局(選挙管理委員会、監査事務を含む)に関する事務をそれぞれ決算審査した。決算審査特別委員会は、意見書を附帯して認定すべきものと決定した。本会議上、宮崎決算審査特別委員長の報告を受け、全員賛成で認定した。

平成23年度決算審査特別委員会付帯意見書

1. 「花のまち河津」として特色ある桜公園・カーネーション園・菖蒲園を早期に整備されたい。
2. 風土の森については、早期に整備計画を作成し有効活用されたい。
3. 町税及び道路・河川占用・水道温泉使用料について、長期滞納者への徴収努力と財産差し押えの事務を含め時効停止の措置を取られたい。
4. 伊豆縦貫自動車道整備工事における残土を利用し、総合グラウンドの整備をされたい。

平成24年 第2回臨時会

7月26日第2回臨時会は以下の議案を可決した。

- 報告第3号 専決処分の報告について
 - ・・・車両事故による和解及び損害賠償の額を定めることについて
 - ・・・損害賠償額138千円を対物賠償共済金で支払う。
- 承認第4号 専決処分の承認を求めることについて
 - ・・・静岡県市町総合事務組合格約の一部を変更する規約について
 - ・・・「共立湊病院組合」を「一部事務組合下田メディカルセンター」に改める。
- 議案第42号 平成24年度南禅寺仏像展示収蔵庫建設工事請負契約について
 - ・・・請負契約について、指名競争入札により82,897千円で東海建設(株)と契約。
- 議案第43号 平成24年度河津町一般会計補正予算(第3号)
 - ・・・歳入歳出それぞれ9,999千円を追加し、総額をそれぞれ3,569,851千円とする。

第3回定例会町長の行政報告 (抜粋)



●平成23年度決算

一般会計決算額は、歳入38億3,693万円(対前年比3.1%減) 歳出36億7,011万1千円(対前年比2.6%減)、歳入は地方交付税が増、町税、国庫支出金の減収。町債の発行抑制の結果、歳入総額で1億2,493万8千円の減、歳出では、合併処理浄化槽補助金や、台風15号の被害により大幅な支出増となったが、大規模な施設整備が減少したため歳出総額で9,810万3千円の減となった。健全化判断比率は9.9%、将来負担比率は21.2%、公営企業の資金不足比率も黒字、当町の財政は健全財政である。

●総合防災訓練

東海地震予知情報が発表された事を想定して実施、中学生175人、高校生142人を含む3,549人が参加。

●津波対策

津波対策の一環として、今井浜海岸、河津浜海岸に津波避難誘導看板7基を設置。

●再生可能エネルギーの導入による町づくり

エネルギーの地産地消と中山間地域の振興、及び観光、防災への利活用を図るため、豊富な自然資源を活用した、再生可能エネルギーの導入による町づくりの推進。

●白馬村姉妹提携

姉妹提携30周年を迎え、さらなる交流を深めるため、7月21日、22日の両日、町民60人が、バス2台で白馬村を訪問。

●上河津診療所の開設

下佐ヶ野地内に建設中だった上河津診療所が新築移転し、8月1日より診療を開始、新診療所の開設により、地域の皆様に安心して、医療を受けていただける環境が整った。

●鳥獣被害対策

被害対策として、電気柵、防護ネット等の設置に対する補助金交付、農業団体や猟友会などと協議会を組織し、各種対策や取り組みを行い、駆除に対する報奨金の見直しなど協議。

●夏の観光状況

海水浴場の入込みは、今井浜で43,710人、河津浜で3,831人、温泉施設では、見高入谷高原温泉で7・8月で2,043人、踊子温泉会館が19,447人、サンシップ今井浜が14,465人となった。

●観光施設整備事業

南禅寺仏像展示収蔵庫建

設工事は、東海建設(株)が落札し、8,289万7,500円で契約した。南禅寺遊歩道設備工事は、(株)大塩組が落札し、2,331万円で契約した。仏像展示収蔵庫の正式名称を「河津平安の仏像展示館」とし、来年2月20日オープンの予定。踊子歩道七滝区間の改修工事は、静岡県が1億7千万円余の工事費で7月に工事着手、来年3月15日完成予定。大滝遊歩道については、昨年9月の台風被害の法面工事と合せ、県の補助金を受け、ジオパーク推進事業の一環として、整備工事を実施予定。

●今後の観光誘客事業

「河津秋祭り」は11月20日から12月10日にかけて、七滝、湯ヶ野、峰温泉大噴湯公園、見高入谷高原温泉でイベントとして開催。

●町営温泉会館について

町営温泉会館の在り方検討会の答申をふまえ、サンシップ今井浜を本年9月30日をもって閉館とした。今後の利用計画については、地元見高浜区と協議し、平成25年度に新たな施設の整備を実施する予定。踊子温泉会館は観光誘客と住民福祉の向上を目的とし、一層の利用促進をはかり、原則年中無休とし、健全運営を目指して行く。

一般質問

重点政策と町の方向性

町長—防災、少子化、経済活性化の検証を

質問…24年度5つの重点テーマの進捗状況は。繰越金、財政積立基金の状況は。

町長…防災対策は、162ヶ所に海拔表示をした。避難路等の整備は城址公園、見高浜避難階段を進める。緊急浄水装置の設置にも取り組む。災害用避難施設には、補助金の交付をする。子育て環境は、住宅整備支援事業、子育てサロン、学童クラブ、に取り組んでいる。サンシップ今井浜の閉館に

伴い、跡地利用を見高地区の活性化に取り組む。

総務課長…繰越金は一般会計1億6,681万円、財政調整基金残高11億4,931万円です。

質問…年々、財政調整基金が増えている。財政状況も見ながら、新規事業の取り組みも考えているか。

町長…来年度予算編成には、防災対策、少子化対策、経済活性化対策等、テーマを設定し取り組みたい。

児童の安全を、通学路、いじめ問題

町長—現状を把握、しっかり取り組む



南小前通学路

質問…通学路表示はできているか。学校駐車場は、児童と区分け、しているか。

いじめの状況は。

教育委員会事務局長…通学路表示は何ヶ所か注意喚起する表示がある。駐車場は、西小、東小は児童と完全に別れている。中学校も校地の外側にあり分かれている。南小は、駐車場の出入口と

子供通路を分けている。質問…事故があってからでは遅い。その前に対策が必要と考えるがどうか。

いじめ問題は、早期発見、対応が必要である。だれでも内密に相談できるシステムが必要と考えられるが、教育委員会、学校として取り組むことができるか。

町長…通学路の安全確保は教育委員会も含め、町の責務と考える。安全につき、何が必要か、検証をし取り組む。いじめ問題は、いろんな状況があると思います。教育委員会、学校、町と情報を共有して、地域、町でしっかり児童を守るように、進めたい。



渡邊 弘 議員

荒廃農地の有効利用

町長—100%補助金の利用を



荒廃農地

質問…耕作放棄地の状況は。どんな弊害があるのか。

町長…病虫害や鳥獣害と堰の管理、土砂やごみの不法投棄・火災の発生等が考えられる。

産業振興課長…農地が379ヘクタールの中で耕作放棄地が24.2ヘクタールで6.4%を占めている。

質問…再生事業で100%補助金事業を町民への広報はどんな方法でしているか。

産業振興課長…町民周知はパンフレットを全世帯回覧した。

質問…農地の賃貸借の問題も含め、荒廃農地再生について説明する窓口は。

産業振興課長…産業振興課の窓口で相談に応じている。

バガテル公園の再建計画の進捗状況は

町長－平成26年度単年度黒字を

質問…河津バガテル公園については、22年度は、中小企業診断士の経営診断。23年度は、在り方検討委員会の答申。24年度は、非常勤役員を公募しての再建計画の実践である。進捗状況と今後の対応は。

町長…再建計画の重点は、販売部門の強化・業務体制の刷新です。その結果、第一四半期の売り上げは、前年比112.5%の増加だが、最終的な利益増加に至らない。指定管理料については一定金額を定め指定管理料を払う方式に変える。目標達成をすることで今後の町の支払い減額を目指す。

質問…今回経営改善計画は、最後の機会である。内部改善が出来ないから、外部人材による改善といえる。24年度の社長方針は、

1. 全社員が明朗闊達に活動し、一致協力して売上予算を必達。
2. 平成26年度単年度黒字の確保。長期的視野に立った活動

と聞いている。

再建計画の成果はどうか。

町長…前年比900万円の売上増であるが、ショップによりバラツキがある。取締役会と協議して、人件費の削減、オフシーズンの休園日設定、店舗の統合などを提

案していく。町としてもレストランの屋根の改修を初め相当額の支援をしていく。

地震・津波・水害対策は

町長－自分の命は自ら守る為の支援を行う。

質問…内閣府の被害想定は地震震度6弱。津波は最大13メートル。平均10メートルとある。ゲリラ豪雨等の安全・安心の対策は。

町長…津波対策として、下地区9地区と避難場所の協議をした。城山、河津城址公園への避難路の整備。防災メールの配信事業を行う。

建設課長…津波対策として河津川の下流に津波逆流防止扉を2ヶ所設置完了。地震対策としてTOUKAI-0の利用推進。水害対策として土砂災害危険区域・特別危険区域の指定手続き開始。

質問…防災対策は安全対策の一つ一つ積み重ねること。その事を町民に公開していく事が安心対策に繋がると思うがどうか。

町長…深層崩壊の危険性。地震・津波による被害予想を町民に伝えていく。安心を持ってもらうと共に過度な安心感を与えないように、注意を払っていく。



土屋 貴 議員

第2次温泉供給は

町長－庁内検討会議で検討中。

質問…平成27年度末をもって終了する温泉供給事業はどうなっているのか。

町長…給湯許可は543件。引き続き継続する予定。24年度中に第2次供給計画を町民に知らせたい。

建設課長…温泉会計の純利益約1,300万円。利用者の意見を伺うべくアンケートを実施した。356件の回答があり、加入する意向が多い。工事負担金の額を含めて早急にまとめていく。



河津町浜児童公園から見たみた城山

津波避難対策への取組みは

町長－地区と繰り返し検討・会議を

質問…南海トラフ大地震津波推計値発表後、住民から不安や質問が多く寄せられている。避難地・避難路の更に具体的な取組みは進んでいるか。孤立予想地区への物資補給はどうするのか。要援護者の訓練はされたか。

町長…津波浸水域・深さなど回覧で町民に知らせる。南小屋上、個人のビルなどについても具体的にしっかり検証する。更に再度地区の方と細かな避難について会合を重ねる。各地区の自主的な避難整備には上限100万円の補助をする。高齢化

率が高くなり避難弱者の方がふえている。町民の皆さんの協力がある。この件についても各地区の避難弱者の方々の避難をきめ細かく対応・協議をしていく。

総務課長…9月1日の防災訓練は津波が予想される3地区で会場型訓練を実施。防災週間を入れると4,167名が参加。今回レスキューバイク隊の共同訓練の申し入れがあり、11名の方が孤立予想地区へ出向き本部との通信訓練をした。この様な協力は初動体制として有効な手段と考える。梨本・大



小林和子 議員

鍋・小鍋・縄地については今年度非常食と緊急用浄水装置を配備する予定。

質問…高台を示す避難誘導看板の設置はどうか。

町長…避難路・避難地がまだ確定していない。協議をし進めていく中で合

わせて検討していく。



森林の整備で雇用を

町長－林業に従事する町民は少ない。

質問…町内面積80%は森林だが長期間整備されていない。計画的に切り出し利活用すれば雇用が生まれるのではないかと。高知県仁淀川町に先進的例がある。自伐林家を育成し、バイオマス事業で木材を活用した。出たエネルギーは近隣の公共



小鍋林道

施設で活用、ペレットも作りストーブ等で活用といった地域を再生させている所がある。国でも森林・林業再生プランを掲げている。当町に於いての計画・考えはどうか。

町長…森林の役割が木材の生産のみでなく、水源涵養や土砂災害の防止・環境形成の機能など多方面にあり、しっかり保全することは大切だが現在は木材価格も下がり、需要も減り、林業に従事する人は殆どいない。昨年天城国有林で鹿の食害予防対策として伊豆森林組合からシルバーに4ヵ月、620万円の仕事があった。

産業振興課長…H24年から

34年までの森林整備計画案がある。その内容は整備の基本方針・施業の合理化・具体的方法（伐採・間伐・造林など）・保護の方法（防疫・駆除など）です。町では現在「森林整備加速化林業再生事業」が小池一上佐々野でスタートした10割補助の仕事で3年計画。林道づくりの仕事です。

質問…山林のもつ役割は大きい。長い目で町の財産を有効活用し、林業の再生を考えていくべきだ。

町長…間伐・バイオマス・電気発電という話は調査研究をしてみたいと思う。地元木材の利用も更に促進できるよう考えている。

バガテル公園の指定管理者は

町長－指定管理者は26年度迄、 (株)バガテル公園に

質問…河津バガテル公園の在り方検討委員会の提言では、指定管理者の期間は1年間としている。中期経営計画では平成26年度が最終年度である。その見通しはどうか。

町長…中期経営計画策定の最終年度まで、残り2年間は(株)バガテル公園に、指定管理者を委ねたい。

質問…専務取締役の任期は契約では1年間となっている。見通しはどうか。

町長…平成24年度決算終了時まで予定している。つまり25年の6月迄としたい。費用負担は町であるが、今後は会社負担も含めて検討したい。

質問…バガテル公園の支出

は指定管理料も含めて、22年度は1億236万円、23年度は9,690万円との報告である。24年度の予算では、売上が14.7%増、中間経営計画の最終年度では141.2%増となっている。見通しはどうか。

町長…今年度の目標予算も達成できるかどうか、大変

下田メディカルセンター議会は、3億円の赤字 認定を否決した。今後の見通しは…

町長－議会の動向を見守りたい。

質問…下田メディカルセンター議会は、平成23年度の決算が、2億9,993万円の赤字となり補填補助金を支出した。支出については、詳細に渡り審査しなければならない立場である為、説明



坪井弘司 議員

厳しい状況である。中期経営計画の目標があったので会社一丸となって進めていく。

不足と審議時間の不足との両面があり、否決となった。今後の見通しは。

町長…下田メディカルセンター議会の動向を見守りたい。

質問…今後の病院運営資金が下記の理由で不足する。

1. 新病院下田メディカルセンター4月度損失補填金4,500万円
2. 旧病院企業債償還金残高6億2,500万円。建物解体費用1億～2億円以上の通り7.7億円～8.7億円の資金需要があり不足する。

早急に旧病院の建物を解体し、土地を売却しなければならない。1市5町の首長会議で、検討されているか。

町長…旧湊病院跡地の売却について、提案されている。



河津バガテル公園

一部事務組合報告

下田地区消防組合議会

8月30日開催の定例会で、事業報告、補正予算、23年度決算が審議された。状況(当町分)は、火災0件の減。救助2件で6件の減。救急は233件で5件の減、発生地区別での当町は242件、ドクターヘリへの出勤も11回あった。予防業務で住宅火災警報器の設置を増やす為、82件の独居老人世帯を対象に指導した。届け出事務等の処理状況は建築同意14件、設備等設置届が11件、防災対象物使用開始届が9件あった。現在救急救命士は15名で従事している。補正予算では1,091万1千円追加し総額を7億6,315万2千円とした。23年度決算は歳入7億7,559万8千円、歳出は7億6,295万3千円、差引残額1,264万5千円を承認可決した。西伊豆消防との統合案件は、現在も進行中。

伊豆斎場組合議会

8月30日平成24年度定例会が下田市で開催。楠山下田市長が新管理者として行政報告を行い、「昭和54年に建設され33年経過している、平成23年度で火葬炉等の修理は終わり、あと15年程度は維持できると思うが今後の検討は必要。」

議案は報告第1号、専決処分として金融機関の指定等が承認された。認定第1号、平成23年度伊豆斎場組合決算は歳入4,498万3千円、歳出4,093万4千円で差引額404万9千円を認定した。議案第2号、平成24年度補正予算が上程され、歳入歳出それぞれ324万8千円を増額し、3,571万8千円を承認した。

東河環境センター組合議会

10月5日東河環境センターの第2回定例会が開かれた。平成23年度決算認定など3案件を審議し、いずれも可決認定した。23年度決算では、歳入が6億9,341万7千円、歳出が6億5,034万1千円で、差引残高4,307万6千円である。24年度補正予算では、歳入歳出それぞれに3,307万6千円を追加した。財政積立金への積立や、し尿処理の光熱費などにあてた。

平成23年度のゴミ処理総量は12,348t、95.3%と減少傾向。河津町は約32%の3,988tである。し尿処理は、11,833kℓで前年比6.7%増。河津町は約40.8%の4,825kℓであった。

東河環境センターでは、持ち込みゴミの有料化の検討委員が設置され、ゴミ有料化が検討されている。

一部事務組合 下田メディカルセンター 議会 (以下下田MCと略)

8月22日に下田MC議会定例会が開かれた。議員12名うち出席は10名。

事務報告は『平成23年度の赤字補填補助額は約3億円となった。H24年5月～7月の実績は、入院が延べ5,245人、外来は299件であった。(抜粋)』

一般質問は藤井六一議員と山田直志議員が行った。報告6件。うち2件はH23年度の共立湊病院の予算繰越・継続費繰越について、他に診療科目追加が2件(形成外科・泌尿器科・リハビリテーション科)、県総合事務組合規約の一部変更、H24年度下田MCの補正予算(第1号)資本的収入に420万円等、これらは何れも可決。議案は5件。

H24年度下田MC(第2号)補正予算病院事業費を1,155万円、資本的支出を2億9,600万円とする。H24年度下田MC介護老人保健施設事業特別会計補正(第1号)歳入歳出に各40万円、何れも可決。H23年度共立湊病院決算は不認定となった。H23年度湊病院なぎさ園決算は認定。

監査委員は下田市吉佐美土屋國芳氏が選任された。



土屋 桑太郎 議長

**議長の諸般の報告
議会の動き**

1. 議長の活動
 - ・ 郡議長会
 - ・ 県町村議会議長会県外視察研修
 - ・ 上河津診療所開所式
2. 議会活動
 - ・ 例月出納検査報告書受領（5月・6月・7月分）
 - ・ 河津町議会第2回臨時会
 - ・ 議員説明会
 - ・ 県市町議会議員研修会
 - ・ 議員月例会
 - ・ 河津町議会第3回定例会
 - ・ 議会広報編集委員会
 - ・ 議会運営委員会
3. 常任委員会活動
 - ・ 温泉会館管理運営委員会
 - ・ 社会教育委員会
 - ・ 学校給食審議会
 - ・ 上河津診療所開所内覧会
4. 一部事務組合活動
 - ・ 下田地区消防組合議会全員協議会
 - ・ 一部事務組合下田メディカルセンター議会
 - ・ 伊豆斎場組合議会
 - ・ 下田地区消防組合議会
 - ・ 東河環境センター検討委員会

5. 諸会合

- ・ 夏季対策連絡協議会
- ・ 後期高齢者医療広域連合議会定例会

6. 町の行事

- ・ 町内海水浴場海開き
- ・ 白馬村姉妹都市提携30周年交流事業（白馬村）
- ・ 総合防災訓練

議会構成・各種委員会等改選がありました。



議 長 川下 英一



副議長 萩原 清男

第1常任委員会

- 委員長 土屋 貴 副委員長 坪井弘司
委員 土屋桑太郎、稲葉 静、吉田重好、川下英一

第2常任委員会

- 委員長 渡邊 弘 副委員長 小林和子
委員 山田 勇、萩原清男、宮崎啓次、川下英一

議会運営委員会

- 委員長 萩原清男 副委員長 土屋 貴
委員 坪井弘司、渡邊 弘、小林和子

広報編集委員

- 委員長 萩原清男 副委員長 渡邊 弘
委員 坪井弘司、土屋 貴、小林和子

消防組合

- 議 員 坪井弘司、宮崎啓次、小林和子

斎場組合

- 議 員 萩原清男、吉田重好

東河環境センター組合

- 議 員 山田 勇、稲葉 静、土屋 貴

一部事務組合下田メディカルセンター

- 議 員 土屋桑太郎、渡邊 弘

編 集 後 記

今年も町民の皆様のご協力をいただき、町民体育大会が開催され、各地区ともに、各種目に全力で取り組んでいました。その姿の中にチームワークの大切さ等とともに、健康が第一と感じました。日常生活の中で町民の皆様が健康でいる事が、町の元気につながる事と思われました。
(わたなべ)